

「県立大学設立に関する提言書（案）」

平成 19 年 月

県立大学設立有識者懇談会

はじめに

本懇談会では、少子高齢化の進行や国際化の進展など社会情勢の大きな変化の中で、基本構想の内容をさらに充実するため、教育内容や大学運営のあり方など、目指すべき県立大学の方向性について、多角的な視点から議論を重ねてまいりました。

提言のとりまとめにあたっては、大学としての全体像をより明確にするため、個別項目の提言とはせず、基本構想の趣旨や学部・学科構成、教育内容等を踏まえて、県立大学のあり方総体として整理することとしました。

大学を取り巻く環境が大きく変化する中で、特に県立大学には、大学教育を通じた人材育成はもとより、地域に密着した教育研究を積極的に推進するとともに、その教育研究の成果を広く地域に還元することにより、地域の発展に貢献し、地域の活性化を担っていく役割が期待されております。

今回の提言で示した内容が、さらに具体的に検討され、県立大学がその持つ機能を最大限に発揮し、教育研究の質的向上や大学運営の充実を図るとともに、県民の期待に応えながら、地域に貢献する県立大学として発展できますよう関係者のご尽力を期待します。

平成 19 年 月

県立大学設立有識者懇談会

座長 荒川 正昭